

科目	精神障害作業療法学 I	担当	坂井 一也	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

精神保健領域における作業療法の対象となる疾患・障害について理解し、各疾患・障害に対応した治療理論と治療技術を学び、作業療法士に必要な精神医学のまとめを行い、精神科臨床に必要な疾患の説明をできるようになることを目標とする。  
精神科作業療法の主対象疾患である統合失調症を理解することを目標とする。

**【履修注意】**

精神医学的知識が基本的に必要である。  
不規則な日程に注意すること。  
毎回出席を原則とする。欠席時には必ず連絡すること。

**【評価方法】**

出席、授業態度(居眠り、私語などは減点の対象となることがある)、レポート、筆記試験

**【試験について】**

(筆記試験)

再試験対象者の条件：試験等の総合成績60点未満

**【予習・復習】**

予習・復習による積極的な授業参加を期待する。

**【教科書】**

書籍名：看護のための精神医学 著者：中井久夫・山口直彦 出版社：医学書院

**【参考書】**

書籍名：精神障害作業療法 著者：香山明美・小林正義・鶴見隆彦 出版社：医歯薬出版

書籍名：作業療法技術ガイド第3版 著者：石川齋・古川宏 編 出版社：文光堂

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	精神科作業療法の心構え	オリエンテーション・基本姿勢・考え方
2	精神科医療の歴史	精神科医療の歴史・日本の歴史・精神科医療と法律
3	精神科医療の歴史と作業療法	精神科医療の歴史・作業療法の歴史・治療の歴史
4	精神医学と作業療法(1)	精神医学が必要な理由・非特異症状・治療について
5	精神医学と作業療法(2)	精神医学が必要な理由・非特異症状・治療について
6	精神療法	精神療法・精神分析・留意点
7	薬物療法	薬物療法・副作用・留意点
8	中間まとめ	前半の理解とまとめ
9	統合失調症の理解(1)	統合失調症の症状・特徴・行動特性
10	統合失調症の理解(2)	統合失調症の症状・特徴・行動特性
11	統合失調症の理解(3)	統合失調症の症状・特徴・行動特性
12	統合失調症の理解(4)	統合失調症の作業療法・評価・関わり
13	統合失調症の理解(5)	統合失調症の作業療法・評価・関わり
14	最近の精神保健福祉	日本の流れ・最新情報・今後の方向性
15	まとめ	総まとめ
16	期末試験	15回の復習・確認